

高等部 研究授業

11月29日(水曜日)県総合教育センター 専門支援部特別支援課特別支援班班長 織部恵理子先生を助言者にお迎えして御指導いただきました。

<研修テーマ> 生徒がやりがいを感じる授業づくり

～自ら考え動くためのフィードバックの工夫～

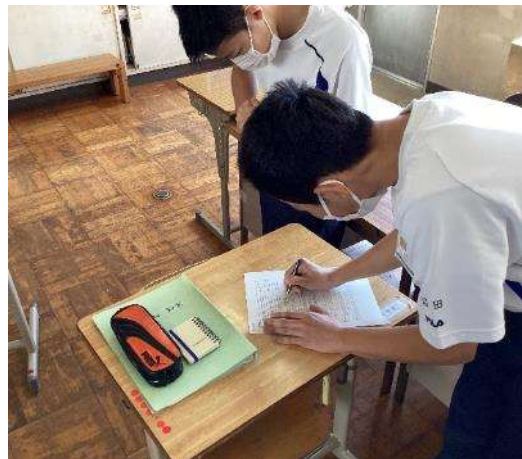
<研究授業> 作業学習「校外清掃で、原団地をきれいにしよう！」

クリーンサービス班 清掃G (グループ)

「私達のやりがいは感謝されることです！」

清掃班は販売活動に繋がる「製品」が無い
ため、「やりがいって何だろう？」の追
求から授業作りがスタートしました。

話し合い活動では「皆から感謝されると
嬉しい。」そのためには「検定を通して確
かな技術を身に付け、繰り返して腕を磨い
ていくことが大切だ。」と確認しました。



「なぜ？」を合言葉に。

先輩に窓清掃のチェックを依頼して、ア
ドバイスを受けています。真剣に汚れを点
検し、「なぜ磨き残しがあるのか。」に対
して道具の使い方を確認。もう一度やり直
した方が良いと判断して、再び取り組む様
子が見られました。自分で問いをもち、生
徒同士がやり取りを通して思考しながら、
より良い成果を上げようと夢中になって取
り組む姿は頼もしく感じました。

今回は他学部からの参加者もあり、出され
た感想や意見も大いに参考になりました。

織部先生からは、各教科を合わせた指導に
ついて、もう一度基本に立ち返って教えてい
ただきました。また、非認知能力の細かな説
明とそれを高めていくことの重要性について
改めて学ばせていただきました。今後、作業
学習において単元をデザインしながら、VUCA
の時代をたくましく生き抜いていく生徒の意
欲や主体性を育てていこうと、教師の意欲も
高まる研修となりました。

